

第二章

「ある/いる」と「iss-ta(있다)」

1. 概観

本章では、現代日本語の「ある/いる」と現代韓国語の「iss-ta(있다)」について比較対照することを目的とする。以下では、現代日本語の「ある/いる」と現代韓国語の「iss-ta(있다)」を述語とする文について考察を加え、「具体的にどのような違いがあるか」という問題について詳しく論ずる。

先行研究では、「ある/いる」と「iss-ta」について、一般的に二つの意味を表すと説明されている。具体的には、「ある/いる」と「iss-ta」は、「存在(所在も含めて)」と「所有」の意味を表すと説明する。(1)(2)と(4)(5)(6)は、存在の意味を表す一特に(2)と(6)は、出来事存在を表す一例であり、(3)と(7)(8)は、所有の意味を表す例である。

- (1)a あの辺に筑波大学がある。
b あんなところにトカゲがいる。
- (2)a 近くで交通事故があったらしい。
b 土曜日の三時から総合体育館でバレーボール大会がある。
- (3)a 花子には兄弟がいる/ある。
b 太郎は財産がある。

現代日本語の場合は、(1)aのように存在の主体が「もの(無情の主体)」である場合には「ある」が用いられ、(1)bのように「人または動物(有情の主体)」である場合には、「いる」がそれぞれ用いられる。「ある」と「いる」の使い分けについては、2.節でもう一度取りあげる。

- (4) 학교 앞에 버스 정거장이 있다.
hakkyo aph-ey pesu cengkecang-i iss-ta.
学校 前 に バス 停留所 がある
学校の前にバス停がある。

- (5) 다로는 지금 교실에 있다.

talo -nun cikum kyosil-ey iss-ta.

太郎 は 今 教室 に いる

太郎は今教室にいる。

- (6) 근처에서 사고가 있었던 것 같다.

kunche-eyse sako -ka iss -ess-ten kes kath-ta.

近く で 事故 が あるタ の ようだ(らしい)

近くで事故があつたらしい。

- (7) 내게도 그만큼 돈이 있다.

nay-keyto kumanhan ton -i iss-ta.

僕 に も それくらい の お金 が ある。

僕にもそれくらいのお金がある。

- (8) 다로에게는 예쁜 딸이 있다.

talo -eykeynun yeyppun ttal-i iss-ta.

太郎 に は かわいい 娘 が いる

太郎にはかわいい娘がいる。

(4)と(5)に示しているように、現代韓国語の「iss-ta(있다)」には、現代日本語に見られるような「ある」と「いる」の対立が存在しない。有情名詞((5)の「太郎」)であれ、無情名詞((4)の「停留所」)であれ、「iss-ta」が用いられる。現代韓国語の「iss-ta」に関するこのような特徴は、(7)(8)の所有の場合も同様である。

以下では、存在を表す場合を中心に考察する。

存在の意味を表す「iss-ta」を述語とする文(以下では「存在構文」と呼ぶ)は、一般的に(4)のように「NP(Noun Phrase)-ey → NP-i/ka → iss-ta(NP 에 → NP 이/가→있다)」という語順になる(基本語順)。

「無情名詞+ ey(에)」格

「有情名詞+ eykey(에게)」格^{*1}

「i(이)格 / ka(가)格」

現代日本語の「ニ格」にあたる。

： 現代日本語の「ガ格」にあたる。

*1 主に所有構文に用いられるが、「eykey(에게)」格の例については(7)(8)を参照されたい。

存在構文の述語の「iss-ta(있다)」は、存在の場所を表す「ey(에)格」と存在の主体を表す「i/ka(이/가)」格を項(argument)として要求する。

- (4)' * 학교 앞에서 버스 정거장이 있다.

hakkyo aph-eyse pesu cengkechang-i iss-ta.

学校 前 で バス 停留所 がある

(訳文省略)

- (5)' * 다로는 지금 교실에서 있다.

talo -nun cikum kyosil-eyse iss-ta.

太郎 は 今 教室 で いる

(訳文省略)

- (9) 대학로에서(*에) 커피점을 운영하는 오모씨,... (KAIST-2921²)

tayhaklo-eyse(*-ey) khephicem -ul wunyengha-nun o -mo-ssi,...

大学路 で (*に) コーヒー店を 運営 する 吳 某 氏,...

大学路でコーヒー店を経営している吳某氏、...

- (10) 달리는 백마 위에서(*에) 쏘아올린 활이 장끼를... (高³)

talli-nun paykma wi-eyse(*ey) ssoa-olli -n hwal-i cangkki-lul ...

走る 白馬 上 で (*に)射るあげるタ 矢 が 雉 を

走る白馬の上で射た矢が雉を...

場所(location)を表す格成分に関しては、現代日本語で見られるような「ニ格」と「デ格」の区別が現代韓国語にも存在する。(4)と(4)', (5)と(5)', (9)、(10)のような文における「ey 格」と「eyse(에서) 格」は、それぞれ「存在の場所」と「行為が行われる場所」の意味を表す。また、(4)(5)(9)(10)において「ey 格」と「eyse 格」を入れ替えることはできない。

*2 (KAIST-番号) ; 番号は、KAIST コーパスの例文番号である。なお、作品の出典については、『CD-ROM 版 대한민국 국어 정보베이스Ⅱ (大韓民国国語情報ベースⅡ) For Evaluation Only 98.12』KAIST(Korea Terminology Research Center for Language and Knowledge Engineering, 韓国科学技術院・専門用語言語工学研究センター)を参照されたい。インターネット上における検索サイトのアドレスは、次の通りである。

(<http://csfive.kaist.ac.kr/kcp/>)

*3 (高) ; Yu, Kum-Ho(유 금호, 1992)『高麗舞・上』世界日報

- (11) 다로는 지금 도서관에서 공부를 하고 있다.

talo-nun cikum tosesil-eyse kongpwu-lul ha -ko iss-ta.

太郎は 今 図書館で 勉強 をするテイル

太郎は今図書館で勉強をしている。

- (12) 담 밑에 지렁이가 죽어 있다. (KAIST-2522)

tam mith-ey cilengi-ka cwuk -e iss-ta.

堀 下 に ミミズが死ぬ テイル

堀の下にミミズが死んでいる。

「iss-ta(있다)」には、(11)のような「動詞語幹＋ko iss-ta(고 있다)」という形で、または、(12)のような「動詞語幹＋e(a)iss-ta(어/아 있다)」という形で「継続相(動作継続・結果継続)」を表す用法がある。このように、現代韓国語の「iss-ta」は、現代日本語の「動詞＋テイル(テアル)」と同様に、アスペクト形式を構成する補助用言として用いられる。

以上、ごく簡単ではあるが、「ある/いる」と「iss-ta」について概観した。しかし、以上で述べた説明だけでは、現代韓国語の「iss-ta」には現代日本語の「ある」と「いる」のような使い分けが存在しない、という違いを除けば、現代日本語の「ある/いる」と比べて何も違いがない、という結論になってしまう。

次節からは、具体的に現代日本語の「ある/いる」と現代韓国語の「iss-ta(있다)」について、「両言語間には具体的にどのような違いがあるか」という視点から詳しく論ずる。

2. 現代日本語の「ある」と「いる」について

2.1. 「ある」と「いる」の使い分け

現代日本語には、現代韓国語とは異なって、存在の意味を表す動詞が二つ(「ある」と「いる」)ある。この「ある」と「いる」の使い分けについては、一般的に(1)aと(1)bの対立が示すように、存在の主体が人や動物であるか、そうでないかによって使い分けられると言われる。しかし、現代日本語の存在表現を詳しく調べてみると、「存在の主体が人や動物であるか、そうでないか」という使い分けの基準では、うまく説明できない場合があることが分かる。

- (13) 松見公園の池にはびっくりするほど大きい鯉がいる。

(13)は、文法的な文である。しかし、金魚を買いに行った場面などを想定してみると、果たして(14)aのように言うだろうか。(14)bのように言うのが普通であると思われる。

(14)a 金魚いますか。

b 金魚ありますか。

また、人でも動物でも、死体になってしまうと、(15)や(16)のように「いる」を使わずに「ある」を使う。反対に、無生物であっても「いる」を用いて表現される場合がある。(17)(18)など、乗り物や台風の例が典型的である。

(15) そこに死体があるでしょ。(赤川^{*4})

(16) しかし、これらのもののそとにはおびただしい死体があった。(開高^{*5})

(17) 艦隊の上空には、掩護戦闘機は一機もいない。(吉村^{*6})

(18) 台風は本州を北上して今岩手県の上空にいる。

このように、存在の主体が「人や動物であるか、そうでないか」という基準ではうまくいかないということは上記の例で明らかである。それでは、何を基準にすればよいのであろうか。この問題については、金水(1984)を引用する形で説明する。

2.2. 金水(1984)

金水(1984)では、「いる」と「ある」の使い分けについて「自己制御性(セルフ・コントローラビリティ)」の有無によって区別している。つまり、自分の意志をもって、あるいは、あたかも意志があるかのように動いたり動かなかったりする物には自己制御性が認められるが、自己制御的な物でなければ「いる」は使えない、という説明である。人や動物は多くの場合自己制御的なのであるが、商品として扱われたり死体になったりすると自己制御性が剥奪される。乗り物や台風は時として自己制御的に扱われるし、幽霊や神様は大抵自己制御的である、という(pp. 284-285)。

*4 (赤川)：赤川次郎『女社長に乾杯』(CD-ROM 版新潮文庫 100 冊)

*5 (開高)：開高健『流亡記』(CD-ROM 版新潮文庫 100 冊)

*6 (吉村)：吉村昭『戦艦武蔵』(CD-ROM 版新潮文庫 100 冊)

- (19) 公園に子供がいる(*ある)。
(20) まだ宿題をやっていない子供がいる(ある)。
(21) 安子さんには子供がいる(ある)。

一方、(19)では「いる」を「ある」に変えると現代日本語として正しくない文になってしまうが、(20)と(21)はそうではない。(20)と(21)は、「いる」を「ある」に変えても十分通用するのである。(19)(20)(21)の違いは、先に述べた自己制御性という基準ではうまく説明できないが、この問題については以下のように説明している。

- (22) (前略)…存在の主体の性格とは別次元の、文全体の意味のタイプに関わるものであろう。(19)は主体がある場所を占めることを表わし、(20)は全体集合としての「子供」の中で「まだ宿題をやっていない子供」という限定された部分集合が存在することを表し、(21)は「安子さん」が「子供」を所有していることを表している。このような存在表現の類型によって「いる」と「ある」の使用状況が変わるのである。場所を占める意味の文の場合、主体が自己制御的であれば述語は「いる」に限られるのに対して、部分集合の存在や所有を表す文では主体が自己制御的である時「いる」と「ある」の両方が使える、あるいは「いる」と「ある」の間で表現がゆれていると言ってはよいのである。
また次のような文がある。

(例) 昔々、山奥に一人の若い木こりがありました。

説話によく表われるこのタイプの文は、未だ語られない世界であるカオスとしての全体集合の中から登場人物を限定し提示する意味を持つ。部分集合の存在を表す文の一種と考えてよいと思う。やはり「いる」も「ある」も使える。(同書, p. 285)

金水(1984)を簡単にまとめてみると、次のようになる。

- 典型的な存在文：このタイプにおける「存在主体」は「(存在)場所」を構成する(ある場所を占める)物である。
存在主体(+自己制御性)であれば、「いる」が用いられる。
存在主体(-自己制御性)であれば、「ある」が用いられる。
- 部分集合の存在を表す存在文((20)など)
存在主体(+自己制御性)であれば、「ある」と「いる」のいずれも使用可能である。
存在主体(-自己制御性)であれば、「ある」が用いられる。
- 所有を表す文((21)など)：「ある」と「いる」のいずれも可能である。

3. 現代韓国語の「iss-ta」について

一般的に「iss-ta(있다)」には、動詞的な用法と形容詞的な用法があると指摘されている⁷。「iss-ta」の「動詞的な用法」をめぐっては、「iss-ta」を述語とする文の主語が有情名詞である場合、「iss-ta」という行為の意図性(volition)に関する問題—主語が動作主(agent)として解釈されるかどうか、という問題と関連する。「iss-ta」の動詞的な用法としては、具体的に次のような現象が取りあげられている⁸。

①「命令」等の用法がある。

(23) 묻기 전에는 병긔 말고 가만히 있어라. (KAIST-3619)

mwut-ki cen-eynun pengkus mal-ko kamanhi iss -ela

尋ねる 前 には 口開けないで じっと いる 命令

尋ねる前には、何もしゃべらないでじっとしていなさい。

*7 「iss-ta」を品詞分類する際に、一部の先行研究では「iss-ta」のもつ特殊性(「動詞的な性質」と「形容詞的な性質」を同時にもつ)を理由に、「存在詞」という新たな品詞をもっている研究者もいる(I, Huy-Sung(이 회승, 1955, 1956)など)。

*8 「動詞的な用法」という用語における「動詞」は品詞分類上の用語ではない。本稿では、Se, Ceng-Swu(1996a,b)で用いられている用語(「동사적 특성(tongsacek tukseng)」と「형용사적 특성(hyengyongsacek tukseng)」)を参考にしている。

- (24) 조용히 있어라. (KAIST-2617)

coyonghi iss -ela

静かに いる命令

静かにしていなさい。

- (25) * 책상 위에 책이 있어라.

chayksang wi-ey chayk-i iss -ela

机の 上に 本 が ある命令

(訳文省略)

(25)のような典型的な物の存在を表す「iss-ta(있다)」は、命令的な終止形が非文法的になる。これに対し、((25)とは対照的に)(23)や(24)は成立する、という違いが見られることから、両者を「動詞的な用法」と「形容詞的な用法」に区別しようという主張である。

②動詞的な「iss-ta」は、「意図」を表すとされる「iss-keyss-ta(있겠다)」 「iss-ulyeko hanta(있으려고 한다)」という表現が成立する。次の例を見られたい。

- (26) 나는 춘삼이 형하고 같이 있겠다. (KAIST-2184)

na-nun chwunsam-i hyeng-hako kathi iss -keyss-ta

僕は (人名) 兄さんと 一緒に いる意志

僕は(誰とでもなく)(人名)、お兄さんと一緒にいる。

- (27) 줄곧 남편 곁에 있으려고 했습니다. (KAIST-2242)

cwulkot namphyen kyeth-ey iss -ulyeko hay ss-supnita

ずっと続けて 夫 そばに いる ヨウトスルタ ます

ずっと夫と側にいようとしました。

- (28) * 책상 위에 책이 있겠다.

chayksang wi -ey chayk-i iss -keyss-ta

机 (の)上 に 本 がある 意志

(訳文省略)

- (29) * 책상 위에 책이 있으려고 했습니다.

chayksang wi -ey chayk-i iss -ulyeko hay ss-supnita

机 (の)上 に 本 がある ヨウトスルタ ます

(訳文省略)

(26)(27)における「iss-ta」は、「意図」を表すとされる「iss-keyss-ta(있겠다)」

「iss-ulyeko hanta(있으려고 한다)」という表現が成立するのに対し、典型的な存在構文に用いられる「iss-ta」は、(28)(29)に見られるように、非文法的になってしまう。このような違いを根拠にし、両者を「動詞的な用法」と「形容詞的な用法」に区別している。

③「cal(잘)」 「phyenhi(편히)」 「annyenghi(안녕히)」などの副詞と共起可能である。

④「iss-nun-ta(있는다)」のように「-nu-ta(느다)」が可能である。^{*9}

①と②から分かるように、現代韓国語の「iss-ta」は、意図的な行為を表すことができる(動詞的な用法)。しかし、後述するように、現代日本語の「いる」にも本稿で言う「動詞的な用法」があり、両言語間の違いについてまとめることはそう簡単な問題ではない。

以下では、「iss-ta(있다)」と「いる」の動詞的な用法を中心に考察する。

「iss-ta」と、現代日本語の「いる」との違いについては、特に、③「cal(잘)」 「phyenhi(편히)」 「annyenghi(안녕히)」などの副詞との共起関係と、④「iss-nun-ta(있는다)」に関する問題を中心に検討する。

3.1. 副詞成分との共起関係—日韓対照—

(30) 東京にはまだしばらくいるから時々遊びにくるといって、春雨は帰って行った。(三浦^{*10})

(31) 「一年に一度でいいからいらっしゃいね。私のここにいる間は、一年に一度、きつといらっしゃいね。」(川端^{*11})

現代日本語の「いる」には、(30)(31)のように、本稿のいう「動詞的な用法」(「有情の主体」の場合)がある。(30)は、「しばらく」という期間を表す副詞と共起しているが、「しななく」は動作主が「いる(滞在する)」という動作を持続(維持)する期間の意味を表す。「しばらく」が指す期間は、(発話時が

*9 ③と④については、3.1.節で詳しく述べる。

*10 (三浦)：『塩狩峠』三浦綾子(新潮文庫 CD-ROM 版)

*11 (川端)：『雪国』川端康成(新潮文庫 CD-ROM 版)

含まれることがあっても)未来(発話時以後)のことを表す(発話時における状態を表すわけではない)。(30)(31)における「いる」は基本形で「現在の状態」を表すことができないことから、状態を表す動詞ではないことがよく分かる。なお、(32)(33)のような命令的な表現が成立しており、「いる」の動詞的な用法を再確認することができる。

(32) いやよ。ここにいなさい。(川端)

(33) それで正月上京なさる津枝さんにお前を見舞って頂くことにした。
その積りでいなさい。(梶井^{*12})

次は一上の(30)(31)と(32)(33)から確認した一動詞的(一状态的)な「いる」を述語とする文中に、いわゆる動作の様態を表す副詞類を共起させるというテストを試みると、以下のような結果になる。

(34)a * 楽にいる。

b * じっといる。

c * ぼんやりいる。

(35) 誰がじっとしていて金をくれる奴があるものか。(横光^{*13})

(36) 社員の誰もが、仕事も手につかず、ぼんやりしている頃、富菱銀行の最大の實力者といわれる大畑清兵衛は、… (赤川^{*14})

『日本国語大辞典(小学館)』によると、「い(居)る」については「(人や動物の場合)動く物がある場所にとどまって存在する。また、低い状態(姿勢)になる」と説明している(巻一、p. 1079)。

現代日本語では、(34)のように「いる」の様態を一動く物がある場所にとどまって存在する様態を一「楽に」「じっと」「ぼんやり」等の副詞類で修飾している文は、おかしい表現になってしまう。むしろ「いる」によって表現される存在に関する様態を表すには、(35)や(36)のように「じっとしている」「ぼんやりしている」という形が一般的である。

次は、現代韓国語の「iss-ta(있다)」について見る。以下の例を見られたい。

*12 (梶井):『檸檬』梶井基次郎(新潮文庫 CD-ROM 版)

*13 (横光):『春は馬車に乗って』

*14 (赤川):『女社長に乾杯!』赤川次郎(新潮文庫 CD-ROM 版)

(37)a 자네 요즘 {잘 / 편히} 있나? *¹⁵

caney yocum {cal / phyenhi} iss -na?

君 最近 {元気に/楽に} いるか

君、最近元氣か(元氣でいるか)。

b 예, 김선생님도 {잘 / 안녕히} 제십니까?

yey, KIM-sensayngnim-to {cal / annyenghi} kyeysi -pni -kka?

はい、金 先生 も {元気に/安寧に} いらっしゃるます か

はい、金先生も元氣でいらっしゃいますか。

(38) 너나 편히 있거라. (KAIST-1077)

nena phyenhi iss -kela.

君こそ楽に いる 命令(終止)

君こそ楽にしなさい。

Se, Ceng-Swu(1996a,b)では、「iss-ta」のもつ動詞的な用法の一つとして「cal(잘)」「phyenhi(편히)」「annyenghi(안녕히)」などの副詞と共起可能であることを取りあげている。

Se(1996a, b)では、「cal(잘)」「phyenhi(편히)」「annyenghi(안녕히)」などの副詞を「動態副詞語」と呼んでいるが、「iss-ta(있다)」が(37)(38)のようにこれらの動態副詞語と共起可能であることを根拠に、「iss-ta」には動詞的な用法があると主張する^{*16}。

Se(1996)には言及されていないが、(39)(40)(41)の「kamanhi(가만히)」や「menghani(명하니)」「mwukmwukhi(묵묵히)」についても同様なことが言えるであろう。

(39) …(前略)…일본처럼 일반인들에게 법을 따지는 나라에서 그걸 바라보고 가만히 있다는 사실이 믿기질 않는다. (KAIST-837)

(…(前略)…日本のように、一般の人々には法律を守るよう求めている国が、それを傍観していて何の措置もとらないという事実が信じられない。)

*15 以下の(37)aと(37)bは、Se, Ceng-Swu(1996b), p. 400からの再掲である。

*16 詳しくは、Se(1996a, 399-404)とSe(1996b, 728-729)を参照されたい。

(39)' 그걸 바라보고 가만히 있다는 사실이...

kukel palapo -ko kamahi iss-nun-ta-nun sasil -i ...

それ(を)みる て じっと いる という 事実 が

それを見ていて何の措置もとらないという事実が...

(40) 나는 피아트 차의 높은 좌석에 앉은 채 아무 생각도

na-nun phiathu cha-uy noph-un cwasek-ey anc-un chay amwu sayngkak-to

僕はピ아트車の高い座席に座ったまま何の考えも

僕はピ아트(車の銘柄)車の高い座席に座ったまま何も考えないで

않고 멍하니 있다. (KAIST-3625)

anh-ko menghani iss -nun-ta

しないで 呆然と いる

呆然としていた。

(41) 손을 입에 대고 묵묵히 있다. (KAIST-3703)

son-ul ip-ey tay -ko mwukmwukhi iss-nun-ta

手を口に当てるテ 黙って いる

手を口に当てたまま黙っている。

以上では、現代日本語に関しては、「いる」を述語とする文中に「元気に」「じっと」「ぼんやり」等の副詞が共起可能かどうか、現代韓国語に関しては、「iss-ta(있다)」を述語とする文中に「cal(잘)」「phyenhi(편히)」「annyenghi(안녕히)」等の副詞が共起可能かどうかについて検討した。その結果、両言語間には違いがあることが確認できたが、この違いは何を意味をするのだろうか。

現代日本語の「いる」とは対照的に、現代韓国語の「iss-ta」が、これらの動作の様態を表す副詞類と共起可能であるという両言語間に見られる違いについては、「iss-ta」のほうが「いる」に比べると、より非存在動詞的であると考え、やや抽象的な言い方ではあるが、次のようにまとめておく。

(42) 「いる」と「iss-ta」には、いずれも動詞的な用法がある。

ただし、「iss-ta」の方が「いる」に比べて、動き動詞としての表す意味の幅が広い(より動詞的である)。

日韓両言語における「いる」と「iss-ta」に関する、(42)のような一般化の妥当性に関しては、(43)(44)(45)のような例が傍証になるだろうと考えている。

これらの例は、より「動き動詞」に近い用法(より「非存在動詞的な用法」)であり、一般的に現代日本語の「いる」としては訳せない。

- (43) 그러므로 밤늦게까지 있다거나 지나치게 햇빛에 그을리는 행동은 모두 피부 트러블의 원인이 된다. (KAIST-380)

(それ故夜遅くまで起きていたり過度に日焼けしたりする行動はすべて皮膚のトラブルの原因になる。)

- (43)' 그러므로 밤늦게까지 있다거나

kulemulo pam-nuc-key-kkaci iss-nun-ta-kena

それ故 夜 遅く まで いる たり

それ故、夜遅くまで起きていたり

- (44) (볼, 코, 이마, 턱 부분에) 랩을 씌우고 30분 정도 있다.

(KAIST-380)

(pol, kho, ima, thek pwupwun-ey)layp -ul ssuywu -ko 30-pwun cengto iss-nun-ta

(頬、鼻、額、顎の部分 に)ラップをかける て 30 分 程度 いる

(頬、鼻、額、顎の部分に)ラップをかけて 30 分程度待つ。

- (45) 2~3분 가량 이들 마사지를 되풀이한 다음 티슈를

2-3pwun kalyang i-tul masaci -lul toyphwuliha-n taum thisyu -lul

2-3 分 ほど これらのマッサージを 繰り返す た後 ティッシュ を

2-3 分ほどこれらのマッサージを繰り返した後、ティッシュを

덮고 10분쯤 있다. (KAIST-380)

tep -ko10-pwun-ccum iss-nun-ta

かけるて 10 分 ほど いる

かけて 10 分ほど待つ。

以上では、「ある/いる」と「iss-ta(있다)」の動詞的な用法について考察し、「iss-ta」は「ある/いる」に比べて、より動詞的な意味を表すことができることについて述べた。

それでは、存在の意味を基本意味とする「動き動詞」的な「iss-ta」は、どういう意味を表すのだろうか。「動作主の意図」と「存在」が混ざり合ったような意味であろうと推察できるが、具体的には「姿勢の維持」とか「滞在」のような意味だろうと考えている。実際、(43)(44)(45)における「iss-ta」は、「姿勢の維持」「滞在」の意味を表している。ここでいう、「姿勢の維持」「滞

在」のような動作は、具体的な動き(例えば、「食べる」等に見られる具体的な動き)を伴わない動作である(この問題については、後でもう一度触れる)。

3.2. 「iss-nun-ta(있다)」について

- (46) 그러므로 밤늦게까지 있다거나… ((43)を再掲)

kulemulo pam-nuc-key-kkaci iss-nun-ta-kena …

それ故 夜 遅く まで いる たり

それ故、夜遅くまで起きていたり

(46)の「-nun(는)-」は、先語末語尾(prefinal ending)「-nu(는)-」の異形態(allomorph)の一つである。「-nu-」の意味機能については、研究者の立場によって様々な異説が見られるが、「-nu-」は状態を表す述語には接続できないという特性に関しては現在のところ異見がないようである。(47)(48)(49)を参照されたい。

- (47) * 책상 위에 장미가 있다.

chayksang wi-ey cangmi-ka iss-nun-ta.

机の 上 に バラ が ある

(訳文省略)

- (48) * 장미가 빨간다.

cangmi-ka ppalka-n-ta.

バラ が 赤い

(訳文省略)

- (49) * 담 밑에 지렁이가 죽어 있다.

tam mith-ey cilengi -ka cwuk-e iss -nun-ta.

堀 下 に ミミズが 死ぬ テイル タ

(訳文省略)

前述した(39)(40)(41)(43)(44)(45)も、「iss-nun-ta(있다)」を述語としており、この点においても動詞的である。

なお、以下に示す例は、いわゆる継続相(動作継続)を表すアスペクト的な表現に用いられた「iss-nun-ta(있다)」の例である。

- (50) 그들은 봄동안은 이곳에 머물러 있다. (KAIST-469)

kutul-un pom-tongan-un ikos -ey memwul -le iss-nun-ta

彼らは春の間 はここに 泊まる テイル

彼らは春の間は、(他の所には行かないで)ここにとどまっている。

- (51) …(前略)…그 바로 위에 인간이 서 있다 해도 이를 느끼지 못할

ku palo wi-ey inkan-i se iss-nun-ta hay-to i -lul nukki-ci mos-ha-l

その真上 に人間 が立つテイル ても これを 感じる 出来ない

その真上に人間が立っていてもこれを感じられない

정도로… (KAIST-1106)

cengto-lo …

くらいに

くらいに

- (52) 그저 종일 취해서 늘어진 채 기둥에 기대어 있다. (KAIST-1133)

kuce congil chwi hay -se nuleci-n chay kitwung-ey kitay -e iss-nun-ta

ただ 一日中 酔う て ぐったりとなるタまま 柱 にもたれる テイル

ただ一日中、酔っぱらってぐったりとなったまま柱にもたれている。

- (53) …(前略)…하지가 한국에 계속 남아 있다는 것은 이득이 될

haci -ka hankwuk-ey kyaysok nam-a iss-nun-ta-nun kes-un ituk -i toy-l

(人名)가韓国 に 続けて 残るテイル の は 利得がなる

(人名)가続けて韓国に残っているのは、利益になら

수 없다고 설명하였다. (KAIST-1160)

swu eps-ta-ko selmyengha-yess-ta

ないと 説明する タ

ない(利益をもたらすことにはならない)と説明した。

- (54) 그 방법에 비해 이대로 자리에 누워 있다는 것은 전염된

ku pangpep-ey pihay itaylo cali-ey nwu-we iss-nun-ta-nun kes-un cenyem-toy-n

その方法 に比べてこのまま布団に寝るテイル の は伝染されるタ

その方法に比べて、このまま布団の中に横になっているのは伝染さ

폐를 계속 소방차처럼 흡사시키는 것 아니겠습니까? (KAIST-1346)

phyey-lul kyaysok sopangcha-chelem hoksa -sikhi-nun kes ani-keyss-supnikka

肺 を 続けて 消防車 のように酷使する サセル ことではありませんか

れた肺を続けて消防車のように酷使させることではありませんか。

- (55) 무대 한가운데 이 진옥 엄격한 얼굴로 단정하게 서 있다.

(KAIST-2669)

mwutay hankawuntay I, Cin-Ok emkyekha-n elkwul-lo tancengha-key se iss-nun-ta

舞台の真ん中に (人名) 厳しい顔で端正に立つテイル

舞台の真ん中に、(人名)、厳しい顔と端正な姿勢で立っている。

- (56) 그렇게 말하고, 나는 입을 다물고 의자에 앉아 있다.

(KAIST-3677)

kuleh-key malha-ko na-nun ip-ul tamwul-ko uyca-ey anc -a iss-nun-ta

そう言うて僕は口を閉じて椅子に座るテイル

そう言うてから僕は口を閉じて椅子に座っている。

- (57) …(前略)…해야 할 마당에 그런 곳에 숨어 있다는 것은 국력 낭비에 국민의 심성을 비겁하게 만드는 일이요, (KAIST-2089)

(…(前略)…動詞+なければならない時に、そんなところに隠れているのは、国力を無駄にすることだけでなく、国民の心情を卑怯にさせることになりかねないと思うよ。)

- (57)' 그런 곳에 숨어 있다는 것은

kule-n kos -ey swum -e iss-nun-ta-nun kes-un

そんなところに隠れるテイルのは

そんなところに隠れているのは…

- (58) 구타당할 때의 여자의 태도는 '그냥 맞고만 있다'가 34.5%…

(KAIST-3695)

kwutha-tangha-l itay-uy yeca-uy thayto-nun kunyang mac -ko-man iss-nun-ta ka

殴打される時の女の態度はそのまま殴られるだけにいるが

(夫に)殴打される時の女性の態度は、「そのまま殴られるがままだに(我慢するという意味で)」が 34.5 %…

(50)から(58)については、どう解釈すればいいのであろうか。一般的にアスペクト形式は、状態化メーカーとして捉えられる。(47)(48)(49)について述べたように、現代韓国語において状態性述語の「-nu(느)-」形は成立しないのが一般的である。それでは、(50)から(58)の「hako iss-ta(하고 있다)」[hay iss-ta(해 있다)]形を構成する「iss-ta(있다)」は、なぜ「-nu-ta(느다)」形が成立する(「iss-ta」に対し「iss-nun-ta(있는다)」が成立する)のであろうか。本稿では、この問題についてもアスペクト形式を構成する「存在動詞の文法化」と関係があると考えている。

よく知られている事実であるが、現代韓国語の「han-ta(한다)」(「iss-ta(있

다)」も「han-ta」形の一つである)には、(59)のような「継続相(動作継続)」を表す用法がある^{*17}。(59)と(60)は、一般的にほぼ同義であると解釈される。

(59) 나는 지금 A 호텔에 머무른다.

na-nun cikum A-hotheyl-ey memwulu-n-ta.

僕は 今 A ホテル に 泊まる

僕は今 A ホテルに泊まっている。

(60) 나는 지금 A 호텔에 머무르고 있다.

na-nun cikum A-hotheyl-ey memwulu-ko iss-ta.

僕は 今 A ホテル に 泊まる テイル

僕は今 A ホテルに泊まっている。

未だに究明されていない問題として常に議論の対象となるのは、(59)と(60)の違いは何か、という点である。(59)が表す動作継続の意味と、(60)の「hako iss-ta(하고 있다)」形(現代日本語の「シテイル」形に相当する)の文が表す動作継続の意味との違いは何であろうか。さらに難しい問題は、3.2節で取りあげている(61)のような「ha-ko iss-nun-ta(하고 있습니다)」形や「hay iss-nun-ta(해 있습니다)」の文は、(59)と(60)とはどう違うかという問題である。

(61) 나는 A 호텔에 (1 년간) 머무르고 있습니다. (머물리 있습니다)

na-nun A-hotheyl-ey (1-nyenkan) memwulu-ko iss-nun-ta(memwul-e iss-nun-ta)

僕は A ホテル に (一年間) 泊まる テイル(泊まる テイル)

僕は A ホテルに(一年間)泊まっている。

本稿では、「hako iss-nun-ta(하고 있습니다)」に関連する問題も、現代韓国語のアスペクト形式を構成する存在動詞が、まだ動詞固有の語彙的意味・機能を保っている(内容語から機能語への文法化があまり進んでいない)ことと関係が

*17 大まかな説明ではあるが、「-nu-ta」(「han-ta」)形で動作継続の意味を表すことが可能なのは、以下のような、一般的に(+過程)の特性をもつとされる動詞類である。

mek-nun-ta(食べる), ilk-nun-ta(読む), ttwi-n-ta(走る), ca-n-ta(眠る),
mantu-n-ta(作る)等

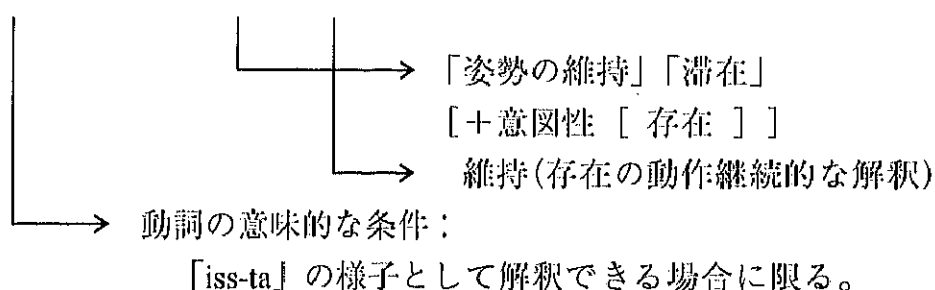
これに対し、anc-nun-ta(座る), nwup-nun-ta(寝る), cwuk-nun-ta(死ぬ)等の動詞の場合は、一般的に文脈などの前提がなければ、「-nu-ta」(「han-ta」)形で動作継続を表すことは出来ない。

あると考えている((59)と(60)に関しては、ここでは問題にしない(第五章を参照されたい))。

3.1.節では、「iss-ta(있다)」には「動き動詞」的な側面があり、「姿勢の維持」や「滞在」のような意味を表すと述べた。本稿では、(61)等の「hako iss-nun-ta」を構成する「iss-ta」は、3.1.節で述べた「iss-ta」と同様な性質をもっていると考えている。(61)に関しては、(59)のような「han-ta(한다)」形には動作継続を表す用法があるという事実注目し、「ha-ko iss-nun-ta(하고 있는다)」における「iss-nun-ta」は「iss-ta」の動作継続を表す表現(に相当する表現)である可能性があるということである。現代日本語ではあり得ない表現ではあるが、あえて現代日本語で表現してみると「動詞+テ+イル+テイル(動詞+テイテイル)」のような表現になるだろうか。

(61)のような「ha-ko iss-nun-ta(하고 있는다)」形はあまり生産的ではない。「iss-ta」の継続相のような表現になるわけであるから、「ha-ko iss-nun-ta」全体が「姿勢の維持の継続(続けて維持する)」もしくは「滞在の維持」のような意味でなければならないと予想される。

(62) 動詞 + ko ISS -nun- ta(고 있는다)



図で示せば、(62)のようになると思われるが、この問題については、もっと研究を深めていかなければならない。^{*18}

4. 結果継続を表す「hako iss-ta」・「hay iss-ta」と「シテイル」について

本節では、存在動詞がアスペクト形式の補助動詞として用いられる場合、日

*18 金水(1983)、金水(1995)によると、上代日本語の「キル」は「立つ」の対義語であり、「テキル」はさらに「テキタリ」になる場合があると述べている。なお、「テキタリ」は「弱進行態」を表していたと主張する。現代韓国語の「hako iss-nun-ta」も「テキタリ」と類似した機能をしているのではないかとと思われる。今後の課題にしたい。

韓兩言語にはどういう違いがあるかという観点から考察する。

具体的には、第三章で詳しく述べるが、「任意の場所 [-ey(에)/-ni] (動詞の表す) 状態変化の行われた結果状態が存在する」という場面を想定し、日韓兩言語の「ものの無意志的な状態変化」の意味を表す動詞述語文の場合について、「ニ格」と「ey(에)格」で示される名詞句と共起可能かどうかをめぐって考察する。現代日本語については、結果継続を表す「シテイル」構文と、存在場所の意味を表す「ニ格」名詞句との共起関係を考察の対象とし、現代韓国語については、結果継続を表す「hako iss-ta(하고 있다)」構文、及び「hay iss-ta(해 있다)」構文と存在場所を表す「ey 格」名詞句との共起関係を考察の対象とする。

- (63) 답 밑에 개구리가 죽어 있다.

tam mith-ey kaykwuli -ka cwuk-e iss-ta.

堀 下 に 蛙 が 死ぬ テイル

堀下に蛙が死んでいる。

- (64) 2층에 창문이 열려 있다.

2-chung-ey changmwun-i yellye iss-ta.

(yelli-e iss->yellye iss-)

二階 に 窓 が 開く テイル

二階に窓が開いている。

- (65) 도로 한복판에 자동차 한대가 부서져 있다.

tolo hanpokphan-ey catongcha han-tay -ga pwusec(i)e iss-ta(pwusecye iss-ta).

道路の真ん中 に 自動車 一台 が 壊れる テイル

道路の真ん中に自動車一台が壊れている。

- (66) 책상 위에 텔레비전이 한대 고장나 있다.

chayksang wi-ey theyleypicen-i han-tay kocangna -(a) iss-ta.

机の 上に テレビ が 一台 故障する テイル

机の上にテレビが一台故障している。

- (67) 운동장에 눈이 녹아 있다.

wuntongcang-ey nwun-i nok -a iss-ta.

運動場 に 雪 が 溶ける テイル

運動場に雪が溶けている。

上に示した例について注目されたいことは、(63)の「cwuk-ta(죽다; 死ぬ)」を含めてすべての文における述語が、項(argument)として「ey(에)格」をとら

ない一項構造(argument structure)の中に「ey 格」が含まれない—動詞であるという事実である。

(68) * 담 밑에 개구리가 죽었다.

tam mith-ey kaykwuli -ka cwuk-ess-ta.

堀 下 に 蛙 が 死ぬ タ

(訳文省略)

(63)を、(68)のように「hayss-ta(했다)」形(現代日本語の「シタ」形に相当する)にすると非文になってしまう。(64)から(67)までの用例も、(63)と同様に「hayss-ta」形にすると非文になる。

(63)と(68)の対比から、(63)において「ey 格」名詞句を選択可能にするのは「iss-ta(있다)」が「ey(에) 格」名詞句を取るからであることが見てとれる。(63)のような例の存在から、「iss-ta」には固有の語彙的な意味・機能がはっきりと残っているということがよく分かる。(64)から(67)までの用例に関しても同様なことが言える。

「hako iss-ta(하고 있다)」及び「hay iss-ta(해 있다)」は、一般的に継続性を表すアスペクトマーカ―(つまり一語＝機能語)としてとらえられているが、本節で取りあげている例の存在から考えてみると、再検討すべきであると思われる。

(69)a 堀の下に蛙が死んでいる。

(69)b */? 二階に窓が開いている^{*19}。

c */? 道路の真ん中に車が壊れている。

d */? 机の上にテレビが一台故障している。

e */? 運動場に雪が溶けている。

今回の調査結果については次章(第三章)で詳しく述べるが、現代韓国語の(63)等の文に対応する現代日本語に関する調査では、(69)に示しているように、「ey(에) 格」を「ニ格」として訳した場合、(69)の「死ぬ」の場合を除けば、

*19 「?」は、非文ではないが「あまりよくない」「少し変」「(完全ではないが)そんなに悪くない」という場合を指す。

その文の多くは非文である—もしくは「あまりよくない」と答えるインフォーマントが多かった。もちろん、調査結果の中では「少し変」「(完全ではないが)そんなに悪くない」という答えも少数あったが、仮に(69)b 等のような文を許容する日本語の母語語者がいたとしても全体的な傾向としては、現代日本語に比べれば「現代韓国語は非常に生産的である」ことには変わりはなく、この違いは日韓両言語の間に見られる大きな相違点といえるであろう。

5. まとめ

第二章では、現代日本語の「ある/いる」と現代韓国語の「iss-ta(있다)」をめぐって両言語間の違いと思われる具体的な言語現象について考察した。本章の主張内容をまとめると、次のようになる。

「ある/いる」と「iss-ta」には、主文の述語として用いられる場合と、補助動詞—継続相(動作継続・結果継続)を表すアスペクトマーカを構成する補助動詞—として用いられる場合がある。

主文の述語として用いられる場合の「ある/いる」と「iss-ta」には、特に「有情の主体」の主語が動作主(agent)として解釈される「動詞的な用法」がある。しかし、現代韓国語の「iss-ta」は、「いる」とは対照的に「動作の様態」を表す副詞類(「cal(잘)」「phyenhi(편히)」「annyenghi(안녕히)」「kamanhi(가만히)」「menghani(멍하니)」)と共に起可能であり、また、現代日本語の「いる」としては訳せない例も見られる。現代の日韓両言語に見られるこのような違いから、現代日本語の「いる」に比べて「iss-ta」のほうが、より「動き動詞」的な側面を持っていると考えられる。

現代韓国語の「iss-ta(있다)」が補助用言として用いられる場合には、一般的に、「継続相」を表す形式とされる「hako iss-ta(하고 있다)」・「hay iss-ta(해 있다)」を構成する「iss-ta」が、さらに「iss-nun-ta(있는다)」という形になる場合(「hako-iss-nun-ta(하고 있는다)」・「hay iss-nun-ta(해 있는다)」)があるが、このような「iss-nun-ta」形は、「iss-ta」の継続相に相当する表現(「姿勢の維持の継続」「滞在の維持」の意味を表す表現)である可能性がある。

「結果継続」を表す「hako iss-ta」「hay iss-ta」における「iss-ta」は、もともと「ey(에)格」名詞句を選択しない—「ey 格」を項としてとらない—動詞を述語とする文に対し、「ey 格」と共に起可能にすることができる。

以上で述べたこれらの現象は、「iss-ta」が内容語から機能語への文法化があ

まり進んでいないことから生じる現象と見られる。言い換えれば、「補助用言」として用いられる「iss-ta(있다)」にも一定の語彙的な意味・機能が残っているということになる。現代日本語の「シテイル」形における「いる」には、ほとんど語彙的な意味や機能がない(文法化が進んでいる)。